



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成
～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら考え、自ら学ぶ子」
「やさしく思いやりのある子」
「たくましい子」

3学期スタート！ 自分でのりこえる！仲間とのりこえる！

初めに、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、奥能登地域を中心に大変大きな被害があり、2年が経過した今なお、当たり前の日常生活を送っていない人たちがいます。多くの人たちのご尽力がありますが、住宅、雇用、コミュニティづくり等において、まだまだ道半ばであり、同じ石川県に住むものとして、地域の再生、創造的復興を切に願っています。

本校では、大きな事故や事件もなく、心穏やかに児童を受け入れ、笑顔で3学期のスタートを切れたことが大変うれしく、感謝しております。今後とも宜しくお願ひいたします。

さて、1月8日の始業式では、校長から、3学期の目標について説明しました。1学期は「そろえる」ということで、学習や生活のルールやマナーの確立に力を入れてきました。2学期は「きたえる」で、学習・生活・特活保体等においてやり切ることを目指して、自分で、そして仲間と頑張ってきました。今年度の集大成となる3学期は「のりこえる」を合言葉に、難しい課題や苦手なこと、初めて挑戦することに最後までねばり強く取り組み、やりきって成長してほしいと伝えました。

「のりこえる」ことの具体として、「大きな声の挨拶」「なわとび」「授業」「自学」「卒業式、6年生を送る会」を例にどのように「のりこえてほしい」のかを伝えました。

「のりこえる」3学期、自分で、そして仲間とのりこえ、一人一人が大いに成長できるよう頑張ってほしいと願っています。

のりこえる○授業 **友だちを大切に**

- 友だちにおしえてもらう
- 友だちの話をよく聞く
(ここがわからない、こういうこと?)
- 友だちにおしえてあげる
- 考えがもてたらはっぴょうする

のりこえる

○なわとびができるように

- 自分でくりかえす
- 友だちにおしえてもらう
- 友だちのとび方から学ぶ
- 本やネットでしらべる
- どうがでとってかんがえる

新年を迎える気持ちを新たに 書き初めの会

始業式の後、書き初めの会を行いました。1・2年生は硬筆で、3年生以上は毛筆で真剣に取り組んでいました。

初めての書き初めに挑戦する1年生教室は、静かな中、鉛筆で書く音が響き渡っており、とても良い音が聞こえていました。新年のスタートに、心を落ち着けて集中して文字を書くことの大切さをわかっていると感じ、うれしくなりました。3年生以上は、条幅サイズ(半切り)の用紙に、一筆一筆丁寧に筆を運び、仕上げていました。



黒板メッセージ

本校では、児童に対して翌日に向けたメッセージを書く先生がいますが、特に学期の始業日には担任の思いのこもったメッセージが並びます。(別の形で思いを伝える学級もあります)

黒板には、学校全体や学年・学級の目標、大切にしたいキーワード等が示されています。まとめの3学期の始まりですが、その日にしかできない指導もあります。**ここぞという機会を逃さず、児童に働きかけることには大きな意味がある**と考えています。

